

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月19日

京都府知事 様

提出者

住 所 京都府宇治市宇治下居64
京都府営水道事務所 広域浄水センター

氏 名 所長 小野 博成

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号0774-24-1521

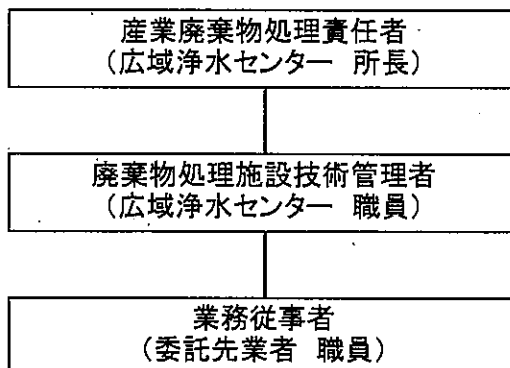
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	京都府営水道事務所 宇治浄水場
事業場の所在地	京都府宇治市宇治下居64
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	36 水道業
②事業の規模	令和6年度供給水量 18,259,210 m ³
③従業員数	職員10名、委託による業務従事者21名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙、事業場内処理フローのとおり

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排 出 量	8704 t	t
	(これまでに実施した取組) ・脱水汚泥ケーキ含水率の低減 ・泥濃縮濃度の向上 ・汚泥量の低減（凝集剤注入量の削減による）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排 出 量	9933 t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組をさらに推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 宇治浄水場で排出する産業廃棄物は、脱水汚泥ケーキのみであり分別は必要なし。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	8258 t	t
	(これまでに実施した取組) ・無薬注長時間型加圧脱水 (フィルタープレス型、圧搾機構付き脱水機)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	9481 t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組を継続する。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全 処 理 委 託 量	446 t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	446 t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・脱水汚泥ケーキの含水率の低減 ・脱水汚泥ケーキの乾燥促進 ・汚泥濃縮濃度の向上		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全 処 理 委 託 量	452 t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	452 t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・脱水汚泥ケーキの含水率の低減 ・脱水汚泥ケーキの乾燥促進 ・汚泥濃縮濃度の向上		
※事務処理欄			